

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公開番号】特開 2018-55078 (P2018-55078A)

【公開日】平成 30 年 4 月 5 日 (2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-013

【出願番号】特願 2017-9109 (P2017-9109)

【国際特許分類】

G 0 9 B 5/04 (2006.01)

G 0 9 B 19/06 (2006.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

【 F I 】

G 0 9 B 5/04

G 0 9 B 19/06

G 1 0 L 13/00 1 0 0 Q

G 0 6 F 3/16 6 8 0

G 0 6 F 3/16 6 5 0

G 0 6 F 3/16 6 6 0

G 0 6 F 3/048

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記目的を達成するために、本発明の電子機器は、第 1 音声データと、第 2 音声データと、を音声として出力する音声出力手段と、複数の表示形態のうちの指定された表示形態で表示を行う表示手段と、前記音声出力手段による前記第 1 音声データの音声出力中は、第 1 の表示形態を指定して前記表示手段を表示させるとともに、前記音声出力手段による前記第 2 音声データの音声出力中は、前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態で前記表示手段を表示させる表示制御手段と、を備える。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 音声データと、第 2 音声データと、を音声として出力する音声出力手段と、  
複数の表示形態のうちの指定された表示形態で表示を行う表示手段と、

前記音声出力手段による前記第 1 音声データの音声出力中は、第 1 の表示形態を指定して前記表示手段を表示させるとともに、前記音声出力手段による前記第 2 音声データの音声出力中は、前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態で前記表示手段を表示させる表示制御手段と、を備える、

電子機器。

【請求項 2】

前記表示手段は、複数の発光形態のうちの指定された発光形態で発光を行う発光手段であり、

前記表示形態は、前記発光手段による発光時の発光形態である、

請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記音声出力手段は、特定の処理の進行に合わせて複数の前記第 1 音声データそれぞれを音声として順次出力させていくとともに、前記特定の処理の進行中において、ユーザと対応しながら前記特定の処理の進行を制御するための前記第 2 音声データを音声として出力させる、

請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記特定の処理は、ユーザに学習を行わせる処理であり、

前記音声出力手段は、ユーザによる学習の進行に合わせて、学習用の音声データである前記第 1 音声データを順次出力させていくとともに、ユーザと対応しながら学習の進行を制御するための前記第 2 音声データを音声として出力させる、

請求項 3 に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記第 1 音声データは、ユーザが習得する課題の教材音声データであり、

前記第 2 音声データは、前記第 1 音声データの音声出力の前後に音声出力される対応音声データを含むユーザとの対応音声データである、

請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 6】

ロボットを模した形状の筐体と、

前記発光手段による発光により、前記筐体における前記ロボットの頭部に対応する部位を点灯させる点灯手段と、を備える、

請求項 2 に記載の電子機器。

【請求項 7】

ユーザの音声を入力する音声入力手段を備え、

前記表示制御手段は、前記音声入力手段による音声を受け付けるときに、前記第 1 の表示形態および前記第 2 の表示形態のいずれとも異なる第 3 の表示形態で前記表示手段を表示させる、

請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 8】

ユーザ操作を検知するセンサを備え、

前記表示制御手段は、前記センサによる前記ユーザ操作を受け付けるときに、前記第 1 の表示形態、前記第 2 の表示形態、および前記第 3 の表示形態のいずれとも異なる第 4 の表示形態で前記表示手段を表示させる、

請求項 7 に記載の電子機器。

## 【請求項 9】

前記第 2 音声データは、ユーザに音声の入力を促すための音声データ、およびユーザにユーザ操作を促すための音声データである、

請求項 8 に記載の電子機器。

## 【請求項 10】

通信機器と通信する通信手段と、

前記通信機器と通信接続して前記通信機器の操作に応じて前記電子機器を制御する通信制御手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記通信制御手段によって前記電子機器が制御されている場合、前記第 1 の表示形態、前記第 2 の表示形態、前記第 3 の表示形態、および前記第 4 の表示形態のいずれとも異なる第 5 の表示形態で前記表示手段を表示させる、

請求項 8 又は請求項 9 に記載の電子機器。

## 【請求項 11】

複数種類の通信方式で通信機器と通信する通信手段を備え、

前記表示制御手段は、前記通信手段による通信中に、前記複数種類の通信方式のうちのいずれの通信方式で通信が行われているかに応じて異なる表示形態で前記表示手段を表示させる、

請求項 1 から 10 までのいずれか 1 項に記載の電子機器。

## 【請求項 12】

前記複数種類の通信方式は、前記通信機器と直接通信する直接通信方式と、前記通信機器と中継器を仲介して通信する仲介通信方式とを含む、

請求項 11 に記載の電子機器。

## 【請求項 13】

電子機器が、

第 1 音声データと、第 2 音声データと、を音声として出力する音声出力処理と、

前記音声出力処理による前記第 1 音声データの音声出力中は、第 1 の表示形態で表示部を表示させるとともに、前記音声出力処理による前記第 2 音声データの音声出力中は、前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態で前記表示部を表示させる表示制御処理と、  
を実行する、

制御方法。

## 【請求項 14】

電子機器のコンピュータに、

第 1 音声データと、第 2 音声データと、を音声として出力する音声出力処理と、

前記音声出力処理による前記第 1 音声データの音声出力中は、第 1 の表示形態で表示部を表示させるとともに、前記音声出力処理による前記第 2 音声データの音声出力中は、前記第 1 の表示形態とは異なる第 2 の表示形態で前記表示部を表示させる表示制御処理と、  
を実行させる、

プログラム。